

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



●一般会計補正予算(初日)

項目	補正額	主な使いみち
総務費	1,784万9千円	寄附金管理基金積立金
民生費	1億1,308万4千円	保育事業
衛生費	1,082万7千円	子ども医療費給付事業
農林産業費	1億808万8千円	道営土地改良事業参画事業
土木費	10万円	樋門樋管管理委託料
教育費	3,840万9千円	小学校施設維持管理事業
公債費	250万円	繰上償還分元金償還金
諸支出金	73万円	公共施設整備基金積立金
予備費	1,074万9千円	
歳出合計	3億233万6千円	

3月定例会議は4日に開会し、令和6年度町政執行方針及び教育行政執行方針が示されました。また、令和6年度各会計予算及び関連議案を予算決算特別委員会に付託し、条例改正、補正予算など町長提案の議案及び議会提案の「芽室町議会会議条例中一部改正の件ほか2件」を原案のとおり可決しました。

3月定例会議

3月定例会議始まる
各会計補正予算は原案のとおり可決

白樺学園高校との包括連携協定事業実施



令和5年3月定例会議 一般質問

町政のそこが聞きたい
一般質問

3月18日(月) 9:30~

常通直人 議員	1	災害に備えた水道施設からの安定した水の確保
中田智恵子 議員	1	災害時における衛生的な生活環境の確保
立川美穂 議員	1	誰一人取り残さない防災対策
堀切忠 議員	1 2	誰もが個性と能力を發揮できる地域社会の実現に向けて 地域集会施設の再整備計画
小笠原等 議員	1	人口動態から展望する今後の子育て支援政策

3月19日(火) 9:30~

鈴木健充 議員	1	芽室町観光ビジョン
正村紀美子 議員	1	新嵐山スカイパーク用地における行政と民間の役割の明確化
菊池秀明 議員	1	再生エネルギーの推進
渡辺洋一郎 議員	1	小中一貫教育の取組の現状と今後の展望

図書館と議会が連携

一般質問に関連する図書を展示



議会的一般質問に関連する図書資料を、図書館の特設コーナーで展示します。ぜひ、図書館へ足を運んでみませんか??

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

年4回開催される定例会議(6月、9月、12月、3月)で一般質問することができます。

白樺学園高校と芽室町議会が締結している包括連携協定に基づき、1学年6クラスのフィールドワークが芽室町議会にて開催され、本会議の議事進行体験を議員全員が輪番にて対応しました。平成28年から町議会では町内2校の高校との意見交換会を開催し、議会の取組を若い世代にも周知・理解してもらうことに継続して取り組んでいます。

生徒たちは学校が作成したシナリオに添いながら、議長の開会宣言に始まり、議運委員長による委員会報告、一般質問、条例制定の可否を諮る討論・採決、の他に事務局席での機器操作等を体験しました。

「芽室町内2校に通う高校生への支援金一人10万円を2回に分けて支給する条例制定をしたい」という「町長提案」に対し、「2回に分けずに一度に支給するべき」という反対討論と、「2回に分けて支給する町長提案どおりで良い」という趣旨の賛成討論を行ったのち、議員役の生徒たちは電子表決システムによって賛否表明を行いました。

シナリオ体験終了後には、議員と首長はそれぞれが住民から選挙によって選ばれ、「二元代表制の一翼」として、議会は町長とは異なる権限を持つこと、定例会議と臨時会議の違い、常任委員会の役割等について議員からレクチャーがありました。

特に生徒たちが体験した「高校生への支給金に係る条例制定の可否を諮る件では、実は町長提案が否決された場合には10万円の支給が叶わないこと、そのために議会では議決を行う前には所管する常任委員会を開き、町長からの提案がより良くなるための議論が行われたのち、議場での議決に至ることなどを例に挙げ、議会は町の重要案件を決める際には議員同士が十分な議論を尽くすことが求められる「議事機関」であることなどを伝えました。

今回、議場を訪れた生徒たちと再会するのは彼らが3年生に進級した2年後となりますが、今回のフィールドワークで体験したことが生徒たちの日々の暮らしの中で何かしらの気づきや、自分ごととして課題意識を持ち、行動するきっかけになることを願っています。

2月6日(火)
●町営牧場の牧草売払い
牧場作業員の高齢化等の課題解決としてドローンを導入した効率的な牧場運営を行うとともに、時間的余剰を活用した牧草売払いで収益増を目指す対策が示されました。

2月13日(火)
●芽室町DX推進ビジョン(案)の策定について
第5期総合計画の実現を目指す手段としてDXを活用したビジョンが示されました。書かない窓口やキャッシュレス決済の推進、コンビニ交付サービスなど役場に行かなくても行政サービスを利用できることを目指しています。
●自治振興報償の積算基準の変更について
加入世帯一戸あたりの金額格差が大きくなっているため、積算基準を変更します。新基準によって82行政区(主体88)が増額になる試算が示されました。
●芽室町観光ビジョン(案)について
前回委員会に引き続き調査を行いました。自由討議では観光資源の考え方、観光ビジョンと新嵐山との関連など課題とすべき事項があげられたことから継続して調査を行います。

第15回 2月14日(水)
●住民税務課より、「窓口体験調査役職員による」ことについての報告、住民票の写し等のコンビニ交付、戸籍への振り仮名記載について説明を受けました。
●教育推進課より、芽室町小中一貫教育方針(案)、スクールバス置き去り防止装置の設置、GIGAスクール構想の推進について説明を受けました。
●1月17日に実施した、どんぐり会との意見交換会のまとめを行いました。

第16回 2月15日(木)
●公立芽室病院より、令和5年度第3四半期の経営状況(R5 第3四半期)、訪問看護ステーション実績、セル看護提供方式導入、アクション・プラン8実績について説明を受けました。
●セル看護提供方式とは、看護師の動線に着目し、そのムダを省き「患者のそばで仕事を」患者に関心を寄せ、従来のナースステーションではなく、病室や病室周辺とするもの。
●高齢者支援課より、第9期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定(第9期介護保険料基準額を月額6,300円に据え置く等)、支えあいの町づくり人材育成事業、介護保険施設環境整備支援事業(町内介護施設のうち居宅サービス提供施設におけるエアコン設置について支援する)について説明を受けました。
●生涯学習課より、芽室町中央公民館の改修工事(冷房設備未整備の9室に空調設備を設置)、ゲートボールの推進について説明を受けました。
●子育て支援課より、令和6年度の保育体制(り)とる・ちっぷす芽室」の閉所等について説明を受けました。
●健康福祉課より、第7期芽室町障がい者福祉計画・第3期芽室町障がい児福祉計画(案)、第5期芽室町健康づくり計画(案)、第3期芽室町国民健康保険データーヘルス計画(案)について説明を受けました。

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会

町から「新嵐山スカイパークのあり方の骨格(案)(以下「骨格案」という。)」の提示があり、約2時間半をかけた調査となりました。町は、これまで聴取した様々な意見を基に、新たな新嵐山スカイパークに想定される機能を示し、これまでの宿泊、キャンプ、スキー場のほか、温浴施設や集客機能のグレードアップも検討要素であると説明しました。
この骨格案を3月上旬に確定させたい町に対して、委員からは「指定管理者(めむろ新嵐山株式会社)の破産に係る検証」が前提だとする意見や、「新たな新嵐山の理念」を町と議会が明確に共有することが肝要だとする意見が出され、町からは、今後の協議において並行して取り組んでいくとの説明がありました。

新嵐山スカイパークのあり方の骨格(案)

- 1 新嵐山スカイパークは町民にとって憩いの場であるとともに、本町最大の観光地であり、着地型観光を推進するための中心的な施設(観光拠点)である。これらの目的・役割・機能発揮のため、早期の再生を目指す。
- 2 必要に応じて施設整備等の投資を行うが、各種補助金・交付金等を活用し、町の負担の軽減を図る。
- 3 スキー場については、社会体育施設に類する機能として、子どもたちの教育の場、冬のスポーツの場であることから、令和6年度シーズンからの営業再開を目指す。ただし、温暖化など環境の変化を見極める必要があり、当面、施設整備等の投資は、最低限とする。
- 4 運営にあたっては、第3セクターの手法は取らず、民間活力を最大限活用する。
- 5 スキー場以外の機能については、令和6年度中に策定予定のランドデザインの中で具現化する。

2/29 第12回特別委員会
「新たな新嵐山」の骨格調査始まる
新嵐山スカイパーク 経営改革調査特別委員会

視察調査レポート

先進自治体を視察することで、町の中では知り得ぬ多くの情報を得ることができ、2月に行った特別委員会の各グループによる視察・分析を報告します。

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会

視察調査レポート REPORT 視察調査レポート REPORT

高知県本山町

- 1 視察日 令和6年2月21日(水)
- 2 視察先 高知県本山町(モンベルアウトドアビレッジ本山)
- 3 視察目的 株式会社モンベルによる公共施設管理運営の実態調査
町が新たな新嵐山スカイパークのあり方及びランドデザインを策定するにあたり、議会として現地視察を通じて調査・研究を深めることを目的とする。
- 4 視察委員及び随員職員等
特別委員会委員6名(鈴木委員長、正村副委員長、中田委員、西尾委員、早苗委員、菊池委員)、随員職員1名
- 5 調査の視点
(1)事業開始の経過、(2)現状、(3)課題、(4)対策、(5)展望
- 6 視察の分析
(1)経営理念
ア 設置条例にある「町民の健全なレクリエーションと健康増進」を重視した上で、スキー場、展望台からの眺望、自然豊かな環境を資源として観光に寄与することが望ましい。
(2)経営形態
ア スキー場、展望台、公園は直営を基本とし、一部委託方式が望ましい。
イ 他の施設等については、民間活力の導入とするのが望ましい。
(3)事業手法
ア 経営理念に基づき、町と民間事業者が行うことの役割分担をする。
(4)事業経費
ア 単年度上限額(町単独経費)を設定することが望ましい。
(5)費用対効果
ア スキー場、展望台、公園は、町民の健康増進および誇れる場であり、費用対効果を求めるものではなく、今後も町が維持管理していくことが望ましい。ただし、事業費は無制限ではない。



次のページは「新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会」

新得町・幕別町

1 視察日

- (1)新得町 令和6年2月7日(水)
- (2)幕別町 令和6年2月8日(木)

2 視察先

- (1)新得町(新得町役場・新得山スキー場)
- (2)幕別町(幕別町役場忠類総合支所・白銀台スキー場)

3 視察目的 自治体所有のスキー場運営について

町が新たな新嵐山スカイパークのあり方及びグランドデザインを策定するにあたり、議会として現地視察を通じて調査・研究を深めることを目的とする。

4 視察委員及び随員等

- (1)新得町 特別委員会委員7名(正村副委員長、常通委員、中村委員、堀切委員、橋本委員、小笠原委員、木村委員)、随員職員2名
- (2)幕別町 特別委員会委員7名(鈴木委員長、正村副委員長、常通委員、中村委員、堀切委員、橋本委員、小笠原委員)、随員職員1名

5 調査の視点

- (1)事業開始の経過、(2)現状、(3)課題、(4)対策、(5)展望

6 視察の分析

(1)経営理念

ア メムロスキー場の経営理念は、「町内の青少年健全育成及び町民の健康増進」とすることが望ましい。

(2)経営形態

ア 直営を基本とし、一部委託方式が望ましい。

イ スキー場経営には、スキースクール、スキーパトロールとの連携協力体制が必要である。

(3)事業手法

ア レストラン、休憩所及びレンタルスキーは、スキー場に必要不可欠であり、民間委託が望ましい。

(4)事業経費

ア 単年度上限額(町単独経費)を設定する(目安としなる具体額を設定する)ことが望ましい。

(5)費用対効果

ア 「町民の健康増進」という基本理念を前提とするなら、費用対効果の視点は優先しない。ただし、事業費は無制限ではない。



留萌市・東川町

1 視察日

- (1)留萌市 令和6年2月19日(月)
- (2)東川町 令和6年2月20日(火)

2 視察先

- (1)留萌市
- (2)東川町(モンベル大雪ひがしかわ、道の駅「道草館」)

3 視察目的 株式会社モンベルによる公共施設管理運営の実態調査

町が新たな新嵐山スカイパークのあり方及びグランドデザインを策定するにあたり、議会として現地視察を通じて調査・研究を深めることを目的とする。

4 視察委員及び随員等

特別委員会4名(渡辺委員、立川委員、木村委員、伊藤委員)、議長、随員職員1名

5 調査の視点

- (1)事業開始の経過、(2)現状、(3)課題、(4)対策、(5)展望

6 視察の分析

(1)留萌市

留萌市では、「モンベルアウトドアヴィレッジの構想」を策定したが、総事業費41億円と想定以上に巨額になったことから工期を2期に分け、まずは拠点施設の整備にこれから取り組む段階である。市役所庁舎等、更新時期を迎える公共施設も多く、駅跡地の活用についても検討を始めたところであり、まちなか全体を俯瞰する視点の重要性については本町においても同様である。また議会で取りまとめた意見等をグランドデザイン策定前に執行側に伝えていく重要性や、公設民営など役割分担の明確化については、本町議会においても取り入れられる視点である。今後整備が進められる留萌市については、十分に注視していくことで意見が一致した。

(2)東川町

ア 経営理念

東川町では「すべてはこの町に暮らす人々のために」という町の根幹となるコンセプトが明確であり、「写真の町」など、まちづくりのビジョンも明確であり、資源・文化・産業・人材等が生み出す「東川らしさ」を打ち出している。本町においても観光ビジョンを含めて「芽室らしさ」をいかに打ち出していくか、コンセプトの明確化が重要であるとの意見で一致した。

イ 経営形態

道の駅「道草館」とともに指定管理は東川町商工会が行い、モンベル店舗は条例に基づき月10万円の賃料を支払っている。

ウ 事業手法

モンベルは店舗のみの出店であり、スキー場・キャンプ場・コテージなどについては第3セクターで運営している。

エ 事業経費

2012年に全体事業費約1億円で建設(補助金約4千万円、基金取崩約6千万円、一般財源約80万円)。

オ 費用対効果

施設使用料と法人税収入があり、すでに町が支出した経費については回収している。

地元雇用の創出、観光客数の入込数増、他の飲食店や個店の出店につながるなど、地域の経済波及効果は大きい。モンベルショップは東川の「ユニクロ的存在」として地域に根付き町民にも愛着を持たれており町民利用が多い。

※まちづくりのコンセプトやビジョンを明確化するとともに、まち全体を俯瞰する視点の重要性について、本町の今後の議論に活かしていく。



議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名		日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット 中継 アクセス数
常 委 員 任 会	総務 経済	第16回	2月6日 13:30～15:01	0:13	1:18	1. 町営牧場の牧草売払いについて 2. 工場立地法に基づく「特定工場」の緑地等面積率の緩和について 他	3 49
		第17回	2月13日 9:30～14:48	1:51	3:27	1. 芽室町下水道中期ビジョン改定について 2. E B P Mを活用した市街地公共交通施策の検討について 他	3 96
	厚生 文教	第15回	2月14日 9:30～11:38	0:17	1:51	1. 窓口体験調査について 2. コンビニ交付について 他	3 36
		第16回	2月15日 9:30～14:49	1:56	3:23	1. 公立芽室病院の経営状況(令和5年度第3四半期)について 2. 訪問看護ステーション実績について 他	4 119
	議 会 運 営 委 員 会	第24回	2月1日 9:30～9:59	0:09	0:20	1. 議会だより2月号の編集について 2. 議会だより3月号の編集企画について 他	1 5
		第25回	2月16日 11:00～11:12	0:01	0:11	1. 令和5年芽室町議会定例会3月定例会議の運営について	1 3
新嵐山スカイパーク 経営改革調査特別委員会	第12回	2月29日 13:30～16:05	0:18	12:47	1. 新嵐山スカイパークの今後について	4 45	
小 計		17:32	4:45	12:47		計19	平均50.4
白樺学園高校と芽室町議会 包括連携協定事業		2月6日 ～2月9日	0:00	9:00	1学年「議会体験」		※
新嵐山スカイパーク経営改革調査 特別委員会所管事務調査		2月7日	0:00	2:00	視察先：新得町 調査事項「自治体所有のスキー場運営事業について」		※
		2月8日	0:00	2:00	視察先：幕別町 調査事項「自治体所有のスキー場運営事業について」		
		2月19日 ～20日	0:00	3:30	視察先：留萌市、東川町 調査事項「株式会社モンベルの指定管理事業等について」		
		2月20日 ～21日	0:00	4:00	視察先：高知県本山町 調査事項「株式会社モンベルの指定管理事業等について」		
小 計		20:30	0:00	20:30			
合 計		38:02	4:45	33:17		計19	平均50.4

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示 ※インターネット中継を実施しなかった会議



表紙写真
白樺学園高校との包括連携協
定事業(一年生の議場体験)

3月定例会議のご案内

18日	9:30～	一般質問
19日	9:30～	一般質問
22日	9:30～	最終日

議会傍聴で
芽室の未来が見える!



インターネット中継は
コチラから視聴できます。
(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

後編
編集集

■ 例年に比べて寒さもゆるく感じた今冬でした。年度末を迎え区切りの季節に慌ただしく過ぎておられる方も多いと思います。3月議会は今年度の予算審査を行う大切な会議です。町の方針の使われ方をしっかりと知りたくありませんか？

■ 3月は、さまざまな課程を修める卒業の時期となります。今までの努力の成果が人として成長し卒業していきます。そして、次のステージで新たな希望に向かってつて急がず、緩やかにスキルアップを目指してください。卒業おめでとうございます。

■ 包括連携協定を締結している白樺学園高校一年生6クラスの議場体験学習が先月行われました。多くの生徒たちにとってはおそろしく初めて出会う「議員」との交流時間でしたが、どのような感想を持ち帰ってくれたでしょうか。2年後、3年生になった彼らと再会するのが今から楽しみです。

立川美穂

鈴木健亮

早苗 豊